

平成28年度 年度重要テーマ研修

平成28年5月12日に年度重要テーマ研修が開催され、**115名**の会員先生、職員様にご参加頂きました！



川西会長より、年度重要テーマ研修にさきがけ、ご挨拶を頂きました。TKC方式の自計化は、訴求訂正が出来ない、巡回監査、決算書の担保ができるという他社とは徹底的な違いがある。金融機関にTKC方式の自計化を説明したところ、「このサービスはいくらで出来るのですか、これなら金利は、半分で良いです」と高評価を頂きました。付加価値の高いサービスを提供していかなければ、税理士の評価は、下がっていきます。

どういう付加価値を提供して、報酬を頂くのか
10年後どういったサービスを提供しているか考え欲しい
その1つのヒントとして今日の研修を活用して欲しい

第1部 自計化による顧客サービスの強化

関東信越会 並木正裕先生より、自計化推進についてご講演頂きました。OMSのKPI管理を利用した所内管理方法についてご紹介頂きました。伝票を使っているのでは、スピード感がでない！監査前に社長が業績をわかっている、打ち手が終わっていないと、この厳しい中、生き残れない！なので、自計化しなければならない！と感じ、事務所方針を出されました。自計化によって、巡回監査がスムーズにでき、書面添付、継続MASの利用ができ、顧客サービスの強化につながります。



巡回監査事務所経営委員会より

①自計化ステップアップ研修 OMS編にご参加ください。

OMS提供以来、はじめての研修です。ぜひ、ご参加頂き、OMSを活用して下さい。

②実践事務所見学会

実際に事務所を見て頂き、事務所経営に活かしてください。

第2部 マイナンバー・複数税率・クラウド会計・Fintech これらの変化に対応し、危機を突破する事務所経営戦略とは



城北東京会 税理士法人ガイア 野口省吾先生に事務所経営戦略についてご講演頂きました。

TKC全国会が、先を読んで方針を出してくれているので、研修会に参加して素直に実行するだけで、経営戦略になります。

記帳代行は今後需要が少なくなる業務であると捉えています。記帳代行では実施できない経営助言業務や関与先の将来を見据えた節税対策など、自計化と継続MASを基盤とした月次サービスを提供しています。

TKCモデルを前提に事務所の経営方針を組み立てています。TKCの中にあるヒントを有効活用し、事務所経営役立てていただきたいと思います。

第3部 TKCシステムはこう変わる！

・PXまいポータル

関与先はマイナンバー対策として、他社からの営業攻勢をうけている状態です。関与先の離脱を防止し事務所収益の向上を同時に実現できます。

・TKCのFinTechサービス

簡単・便利・正確だから安心な銀行信販データ受信機能です。